



公園の数

現在 **190** カ所
面積 約**1,387,000** m²
(平成20年4月1日現在)

分区当時 **163** カ所
面積 約**936,000** m²
(平成2年4月1日現在)

区内の公園は、分区以降27カ所が整備され、区民1人当たりの公園面積も約5.1m²(約3.1畳)から約6.8m²(約4.1畳)に増えました。



一番小さな公園は？

最も小さな公園は、面積**110m²**の大谷地第一ミニ公園（本通17丁目北）です。最も大きな川下公園（194,560m²）と比べると約1,770分の1の広さです。
(平成20年4月1日現在)



▲大谷地第一ミニ公園

区内の街路樹は、分区当時と比べ、約5,700本増えました。



やっぱり「ナナカマド」が一番!?

区内の街路樹は、高木では区の木でもあるナナカマドが最も多く**4,905**本あります。次いでニセアカシアが**4,174**本。また、低木ではツツジ類が**25,301**本で最も多く、ナナカマド、ニセアカシアと合わせると街路樹全体の約**54%**に当たります。
(平成20年4月1日現在)

街路樹

現在 **64,080** 本
(平成20年4月1日現在)

分区当時 **58,400** 本
(平成2年4月1日現在)



小中学生の数

現在 小学生 **9,074** 人
中学生 **4,436** 人
(平成20年5月1日現在)

分区当時 小学生 **12,339** 人
中学生 **6,836** 人
(平成2年5月1日現在)

区内の小中学生の数は、人口の増加にもかかわらず、少子化の影響により、分区当時と比べて大幅に減りました。



クラス数も減少!?

分区した当時と比べると小学校では**369**クラスから**303**クラスに、中学校でも**177**クラスから**128**クラスにそれぞれ減少しました。また各学年の平均クラス数についても、小学校では約**3.0**クラスから約**2.4**クラスに、中学校でも約**6.5**クラスから約**4.7**クラスに減り、学校によっては、1クラスの学年も見られるようになりました。

分区した当時、区内の図書館といえば菊水図書館でしたが、建物の老朽化により移転。平成8年に東札幌図書館として生まれ変わりました。現在は8万6,000冊以上の図書をそろえ、年間28万冊以上を貸し出しています。



▲菊水図書館(当時)

図書の蔵書数

現在 東札幌図書館 **86,268** 冊
(平成19年度)

分区当時 菊水図書館 **72,878** 冊
(平成元年度)



4つのセンターを合わせると東札幌図書館を超える!?

区民センターと3つの地区センターの図書室には、現在、計**122,219**冊の図書が収められています。これは、東札幌図書館の蔵書の**1.4倍以上の数**です。(平成19年度)

もっといろいろな統計情報を知りたい人はこちら

市役所2階「市政刊行物コーナー」で、各種統計資料が閲覧できます。また市ホームページ「さっぽろ統計情報 (<http://www.city.sapporo.jp/toukei/>)」でも、人口はもちろん、経済、社会、生活などのさまざまな分野の統計表を掲載しています。ぜひご活用ください。



土地利用状況

現在 宅地 **14,582,239** m²
田・畑 **885,778** m²
(平成20年1月1日現在)

分区当時 宅地 **13,140,349** m²
田・畑 **2,705,702** m²
(平成2年1月1日現在)

区内の土地利用状況を見ると、総面積**34.58**km²のうち約**42.2%**が宅地です。田畑は約**2.6%**しかなく、面積も分区当時の約**3分の1**まで減りました。

※掲載している数値は、主に市ホームページ「さっぽろ統計情報」や「札幌市統計書」「札幌市の区勢」などから引用したものです。